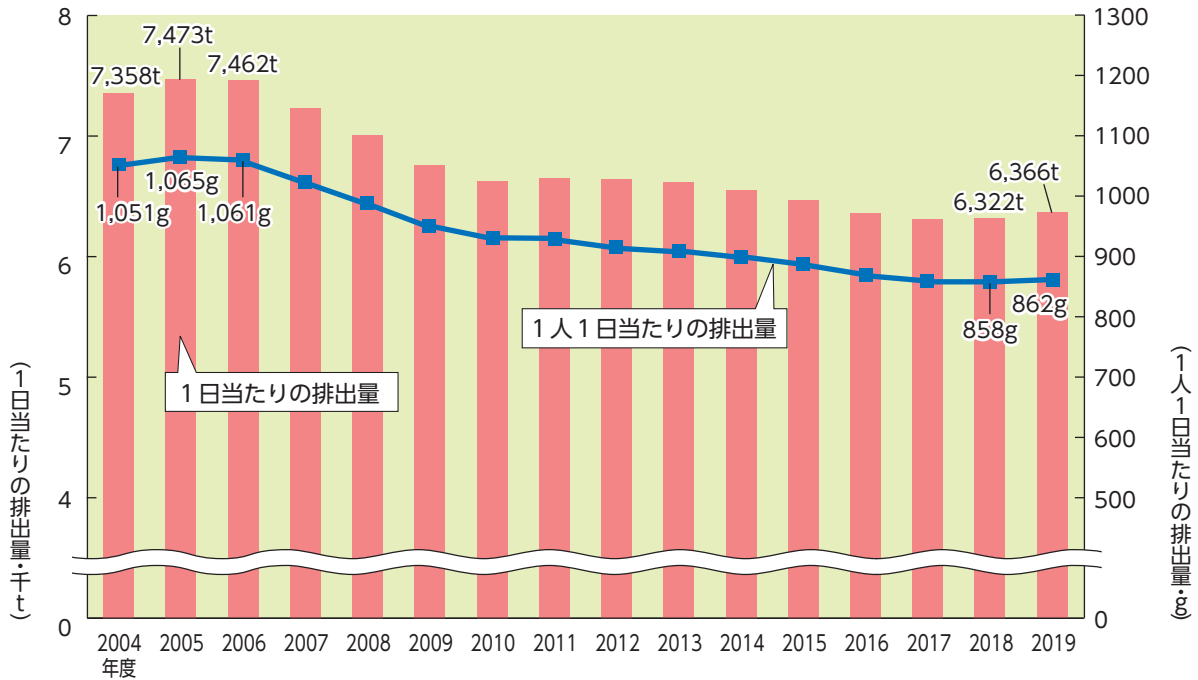


12 環境

① 1日に出るごみの排出量の推移



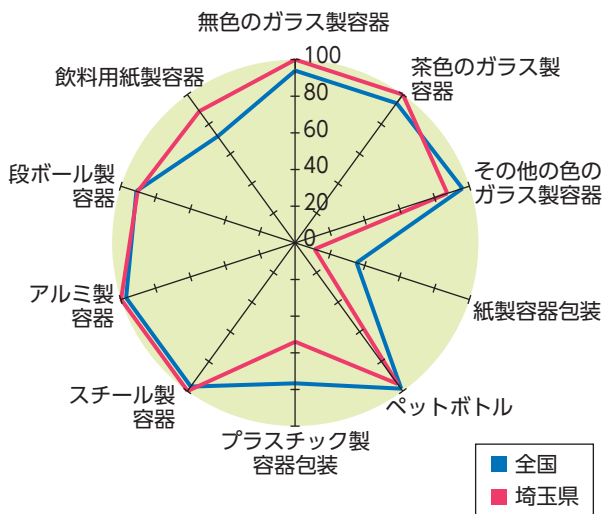
2019年度のごみの総排出量は2,329,805tで、1日当たりの排出量は約6,366tでした。1人1日当たりの排出量は2006年度から減少を続けていましたが、2019年度は増加しました。

注) 1人当たりの排出量は各年10月1日現在の住民基本台帳に基づく人口による。
資料：県資源循環推進課HP
「一般廃棄物処理事業の概況」

埼玉県の日

1人当たりごみの排出量 862g

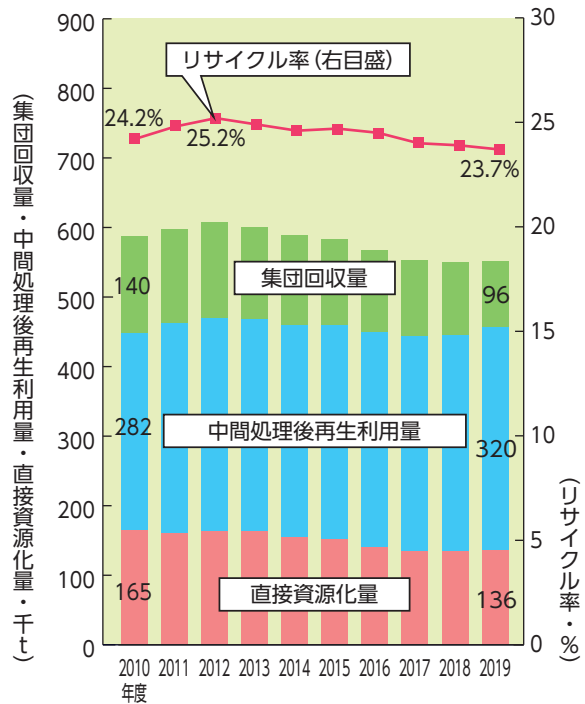
② ごみの分別収集をしている市町村数の割合 (2019年度)



注) 1 容器包装リサイクル法に基づき分別収集した市町村数の割合である。
2 実施市町村数は2020年3月末時点のものである。
資料：環境省HP

無色のガラス製容器、茶色のガラス製容器、スチール製容器、アルミ製容器の分別収集は、県内の全市町村で実施しています。

③ ごみのリサイクル状況の推移

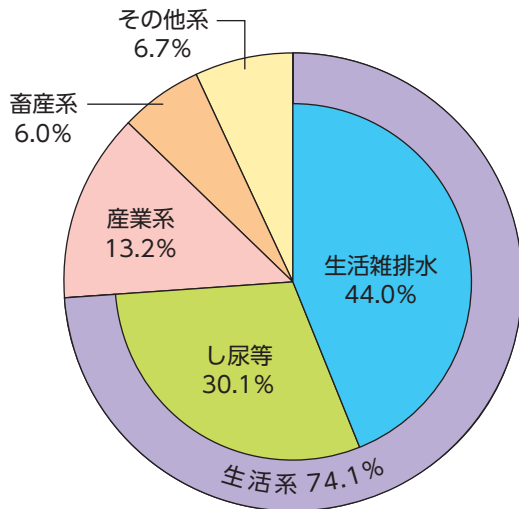


注) リサイクル率 (%)

$$= \frac{\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量}}{\text{ごみの総処理量} + \text{集団回収量}} \times 100$$

 資料：環境省HP「日本の廃棄物処理」

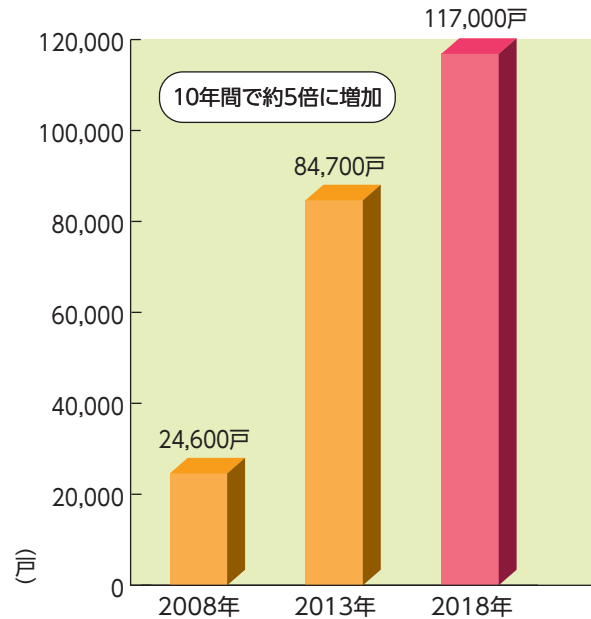
④ 河川の水質汚濁の原因(2018年度)



資料：県環境政策課HP「埼玉県環境白書」

- 河川の水質汚濁の原因として最も大きいのは、家庭の台所や風呂などからの排水(生活雑排水)で、全体の約44%を占めています。

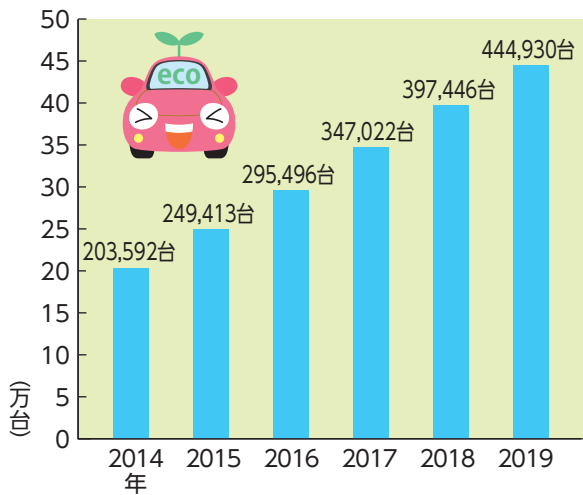
⑤ 太陽光発電のある住宅数(各年10月1日現在)



資料：総務省統計局HP「住宅・土地統計調査」
県統計課HP「住宅・土地統計調査結果」

- 太陽光を利用した発電機器のある住宅数は、2008年から2018年までの10年間で約5倍の117,000戸に増加し、愛知県に次ぐ全国第2位になりました。

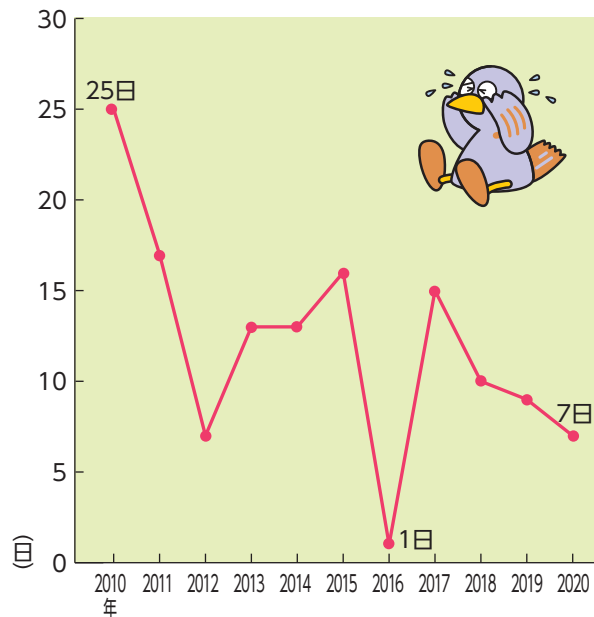
⑥ 次世代自動車数の推移(各年3月31日現在)



注) 1 次世代自動車数は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車の合計。
2 貨物・特殊・軽自動車・自動二輪を除く。
資料：県環境政策課HP「埼玉県環境白書」

- 次世代自動車の数は、5年前の2014年と比べて約2.2倍になっています。

⑦ 光化学スモッグ注意報発令日数の推移



資料：県大気環境課HP

- 2020年の夏は光化学スモッグの発生しやすい気象条件(高温で日照時間が長く、風が弱い)となる日が少なかったため、注意報の発令は最近10年間の平均発令日数(12.6日)を下回りました。